

## 学校読書活動の取組【長岡京市立長岡第二中学校】

### 1 実践テーマ

「図書委員会の活動の幅を広げ、  
『委員会の活性化』・『貸出・返却のデジタル化』を推進する  
～今年を中心目標は「感染対策」と「SDGs」～」



### 2 学校の概況や児童生徒の様子等

本校は、長岡京市の北端に位置し、向日市と隣接する地域である。以前に比べて生徒数は減少傾向(ここ1、2年はやや増加)にあるが、最近では1学年5学級の中規模の学校である。以前は生徒指導での課題が大きかったが、近年は落ち着いた環境で、学習や学校行事等に取り組んでいる。また、生徒は人懐っこく部活動も盛んで熱心に活動している。  
本年度で開校49年目、本年度は20学級(特支含む)、生徒数535名である。

### 3 実践内容

#### (1) 学校図書館運営の企画・立案に関すること

・図書館利用計画の作成に関して

○司書教諭が中核となって計画立案を行い、図書室利用の充実を図ることができた。

○学習センター・読書センターとしての利用計画を作成し、効果的な運営を行うことができた。

特に、今年度は選書会を感染対策を徹底して7月に行い、図書委員会を中心に、学年ごとに時間を区切ることで、より興味関心の高い本の選書ができた。

今年は学年ごとに区切って、感染対策を意識して少人数で選書会を実施しました。



選書会の様子と各学年のベスト10  
(ふせんがいっぱい!!)



#### 図書委員特別推薦の本



※図書委員会を中心に、自分たちで読みたい、図書室に置きたい本を選びました。

#### (2) 学校図書館の活用の在り方

○学習センター・読書センターとしての役割を果たすために、毎日の開館と授業(名簿前半・後半や、班ごと等で区切って入室)での活用を促進することができた。

○昼休みだけでなく、休み時間や放課後の貸出等、日常的な図書室の利用を図ることができた。特に、司書教諭が常駐していたことで、教科(国語・社会)での図書室の利用の活性化につながった。

#### (3) 学校図書館資料の選択・収集・提供に関すること

・図書委員会の指導の在り方について

・図書館だよりなどの発行に関して

○授業や総合的な学習の時間において、「図書館利用のオリエンテーション」「震災学習」「ビブリオバトル」に関する資料の提供を行った。

○蔵書の貸出・返却のデジタル化を進め、今年度図書委員が貸出・返却業務を意欲的に進められた。

ここに ↓ 個人 コード	2545	ここに ↓ 「図書コード」	1年合計	0
	1605		2年合計	2
			3年合計	0

個人コード	個人番号	氏名	図書コード	登録番号	作品	シリーズ名	著者
2536	490220018336	1213			アレース 1	YA!	香月日輪
2537	490220018336	1213			11	0	如月ゆすら
2538	490210302540	1237			伝 毛利元就	コトワザ 日本の歴史 24	すぎたとおる
2539	490210302540	1237			伝 石田三成	コトワザ 日本の歴史 23	すぎたとおる
					王子様勝利学	0	松岡修造

**貸出の流れ**

1. 年生は生体字帳、3年生はKIDカードを「ピッ!」
2. 本の登録番号を「ピッ!」
3. 本の側に貼られた紙を貼ってもらい、返却日を書いてもらえば貸出終了です。

**返却の仕方**

1. 借りた本の登録番号を「ピッ!」
2. 本の側面に貼られた紙を貼ってもらい、返却日を書いてもらえば返却終了です。

※特別なシステムを導入するのではなく、図書委員のアイデアをもとにExcelの応用で貸出・返却システムを構築しました。

※その分、生徒も使いやすく、ランキングやデータ処理が簡単で、なにより時間短縮ができました。

○週刊の図書だよりにより、貸出・返却ランキングを年間を通して発信・交流できた。

※毎週月曜日発行の図書だより「レッゴー!」2学期末には、恒例の図書委員長より貸出最多学級へ表彰状が。

学級	10月	11月	12月	合計
103	11	202	24	307
104	5	203	11	309
105	14	204	6	304
106	12	205	14	305
107	12	206	6	304

(4) 子どもの読書活動に対する指導の在り方

○4月の子ども読書の日や、読書週間を活用し、読書活動が推進できた。

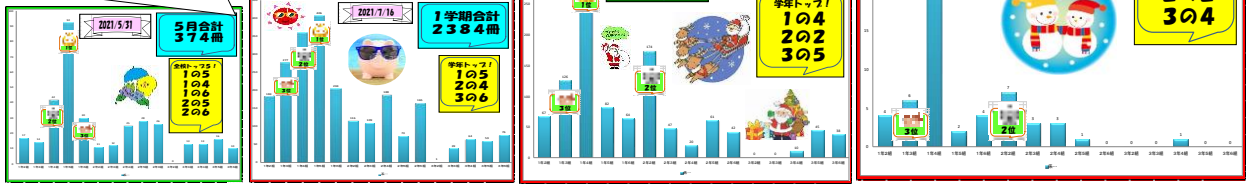
○国語科と連携し、1学年でビブリオバトルを工夫して実施し、読書への関心を高められ、貸出が(一昨年3844冊、昨年4487冊、本年4109冊)できた。

(5) 学校図書館司書教諭の活動状況について

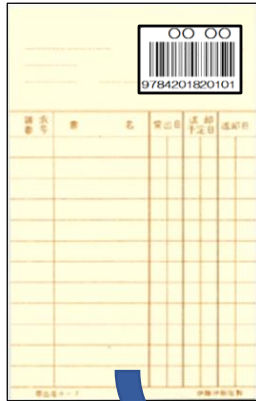
○蔵書のデータ化(約12000冊中、禁帯以外の6251冊登録完了)が進んだ。

○貸出・返却のデータベース化を進め、貸出ランキング・個人ランキング・月別・学級別ランキングを毎月出すことができ、図書館活用の活性化につながった。

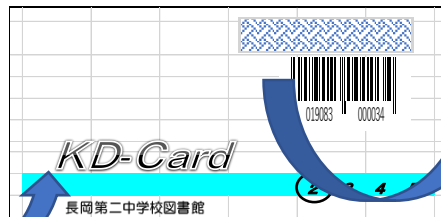
※毎月、必ずランキングを出して、図書だよりに載せています。  
Excelベースなので計算も速く、カラフルで生徒の目を引きます。



○全生徒の個人番号のバーコード化を行い、貸出・返却がスムーズになり、短い時間（休み時間10分、昼休み15分）でも多くの貸出が行えるようになった。



※以前は、個人のカードに各自、借りた本を記入していました。それがいやで本を借りない人も…今ではすべてデータで処理できます。



全生徒にコードナンバーを設定！  
全員の生徒手帳カードにバーコードを載せました。貸出は数秒です！

○「SDGsの取組」として廃材を利用し、委員会活動を活性化させた。



③テーマを決めて9冊ずつの推薦図書コーナーになりました！！



①捨てるはずの古い彫刻板が…



②線を引いて切って貼り合わせて組み立てられて…



図書委員会 推薦図書のコーナー



○図書室の棚を増設した。

## 4 成果と課題

### (1) 成果

- ・読書に親しめる環境を作るために、図書館の環境整備のため本棚をさらに計5架作製。
- ・本棚を整備して「表の見える展示」をこころがけた。
- ・感染対策の一環として、「廃段ボール」を有効活用して、全机に感染防止柵を作った。

Before



After



- ・年度当初に朝読書を実施することができた。
- ・感染対策の厳しいなかでも選書会で、生徒の読みたい本を図書館にそろえることができた。
- ・昨年度できなかった、図書委員会を中心とした推薦図書の紹介冊子が作製できた。
- ・平成30年度より給食が実施され、「昼休み」が短縮、また食べるのに時間のかかる生徒が多い分、昼の来室数は減少した。一方で、貸出・返却のデジタル化がほぼ完了したため、時間のロスがなくなり、貸出数は今年も(H30;2/15現在3,279冊,R1;2/14現在3,822冊,R2;2/15現在4,462冊,R3;2/22現在4,117冊)4000冊を超えた。

- ・学級文庫のローテーションを年間で4回行った。その際、生徒が移動・管理をすすめ、破損・紛失がほとんどなかった。
- ・登録作業が適切に進み、毎月の新刊紹介ができた分、貸出も4000冊を超えた。

### (2) 課題

- ・PC貸出を完全実施し、委員会の貸出活動が活性化し、活動している生徒は充実した反面、当番の仕事が減ったため、当番の回数や人数を検討する必要がある。
- ・貸出・返却PC化によって時間は短縮されたものの、昼休みは短いままなので、給食をゆっくり食べる生徒(全体の3割)の来室が少ないのが課題である。
- ・図書館教育充実のためにも、全学年、通年で朝読書ができる環境を作る。
- ・図書の購入予算が少ないため、流行や話題の本が買えず、読書に親しめる環境が作りにくい。

※最後に…令和3年度、  
最も人気があったのは…



「100冊貸出ごとに出した『バーコード付きミニ賞状』でした。

これで実際に貸出もできます。